

平成29年度学校評価報告書

平成30年3月29日

苫小牧市教育委員会教育長 様

苫小牧市立北光小学校長

佐野方康 印

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1)豊かな心と健やかな体の育成
- ・心を育む道德教育の充実
 - ・生徒指導の充実
 - ・体力の向上
- (2)基礎資本の定着と社会で生きる実践的な力の育成
- ・基礎基本の確実な定着と活用する力を伸ばす授業の構築
 - ・家庭と連携した学習習慣の確立
 - ・読書活動の奨励
- (3)家庭・地域との連携・協働、信頼される学校づくり
- ・家庭と連携した基本的な生活習慣の定着
 - ・開かれた学校づくりの推進

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
道徳教育の充実	達成状況 3.29 (4点中) 道徳の時間を要として、教育活動全体を通じ、道徳性や道徳的実践力の育成に努めている。今年度は校内研修テーマを「道徳A-1」の授業構築とし、全教員による提案授業の授業公開を行うことで、教師個々の道徳の授業力の向上を図ってきた。	道徳教育については、今年度も道路の使い方、歩道橋からの投雪等、地域と連携し指導していく必要のある事例が散見された。学校としても継続し、指導していく。
改善方策	全学級での授業参観公開に加え、平成30年度は「公開研究会」を実施し、北光小の道徳授業実践力を広く発信するとともに、全体計画、別様、評価のあり方、全授業本時案集の整備等、「特別の教科 道徳」の授業環境を整備していく。	公開研究会の実施にあたり、学校評議員の参観も要請した。
生徒指導の充実	達成状況 3.24 (4点中) 集団生活のルールやマナーの徹底を図り、学校事故の防止、規範意識の高揚に努めている、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・事案対処を心がけ、児童会を中心にいじめ防止に向けた全校的な取組を一層推進してきた。 今後も児童理解のため生徒指導体制及び教育相談体制の充実を図り、日頃の観察を怠らず、児童の人間関係の把握に努めていく。	不登校児童や保護者の養育能力に課題のある家庭の指導で児童委員や民生委員の助力の必要性があれば遠慮なく声をかけていただきたいとの意見を頂戴した。
改善方策	生活のきまりの徹底。教育相談記録の有効活用と共有化。いじめ・不登校対策委員会の定例化(月1回)と早期発見・事案対処の徹底。	29年度は全体的に子どもたちのあいさつがよくなっている。

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
体力の向上	達成状況 3.13 (4点中) 体力向上に向けた授業改善に取り組むとともに、全校で取り組むマラソン・なわとびの運動を行っている。投てき能力改善に用意した器具は個人対応のせいか今ひとつ活用されていない。	少年団活動も体力向上に大きな役割を果たしている事と思う。学校も会場貸与や勧誘資料の配付等に協力している。
改善方策	全校で取り組む運動プログラムの継続実施。投てき能力向上のための取組。日常的に運動のできる場の設定。	全校的な体力向上の取組を数年間に渡り継続した成果が高学年での体力テストの好成績に表れているのだろう。
基礎的・基本的な知識・技能の定着	達成状況 3.37 (4点中) 算数科におけるTT指導と少人数指導の充実については担当教員と学級担任、補助のフリー教員と連携しながら、29年度は特に少人数指導の実施割合の大幅増を行った。TT・少人数指導担当者の努力により、子どもアンケートの結果も著しく向上した。 朝活動や長期休業中のぐんぐんタイムの充実、学習規律の徹底、ノート指導や板書を大切に授業改善についてはさらに統一され、3学期の新校舎移設を契機に学習規律の関わる教室掲示も統一され、さらに学習効果を高めることができた。	今年度の統一学力検査の結果から、来年度の6年生には全国学力・学習状況調査での奮起を期待している。 新校舎になり、教育環境も大幅に改善されたことからさらなる学力向上の取組の成果に期待する。
改善方策	ノート指導や学習規律は、中学校区エリア内の近隣小中学校で連携し、さらに徹底を図っている。授業改善では、昨年度までの研究成果である「書く力の指導の継続」を目指し、他教科・道徳においても積極的に実践していく。	今後も基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指し、わかる授業・のばす授業づくりを推進するとともに、児童が「何を学ぶか」から「どう学ぶか」という、主体的な学習への指導方法の工夫および授業改善を図ってほしい。
校内研修の改善・充実	達成状況 3.07 (4点中) 過去4年間にわたる「書く能力」～作文の力や作文を互いに読み合い推敲してさらに改善する力を育ててきた成果が今年度の研究テーマ「考え、交流する道徳」の授業実践の下地となり、充実した研究となった。	地域参観日の授業で今年も「先生方がとてもいねいに教えている」様子を見て取れた。道徳の授業もいろいろ掲示を工夫していた様子だ。
改善方策	平成29年度からは2年計画で「考え、伝え合う道徳」の校内研修を行うが、国語科「作文を推敲しあう力」の指導も継続していく。	公開研究会に向け、研究を蓄積してほしい。
家庭学習の定着	達成状況 2.87 (4点中) 年3回のがんばり週間の設定等、家庭学習の定着と家庭学習の内容の充実を図ってきたが、定着まで未だ課題が残っている。	習い事や少年団活動で時間確保が大変な子どもも多く、家庭学習とのバランスは配慮が必要であり、習い事調査を行ってはどうか。
改善方策	年度初めに工夫した『家庭学習のしかた』について指導し、家庭学習がなぜ必要なのかの意義をしっかりと家庭にも伝えていく。	家庭環境に課題のある子どもへの個別の支援も引き続きお願いしたい。
読書活動の奨励	達成状況 3.22 (4点中) 登校後や給食時間等の読書の推進を行っている。学校司書や図書ボランティアとも連携し、新図書室の環境整備を行っている。	新図書室の整備を急ぎ、さらに児童の読書習慣の定着に努力をお願いしたい。
改善方策	朝読書の充実、多読・家読の推進。読書の大切さについての啓発。	今後も図書室の蔵書数の拡充に努めてほしい。

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
家庭と連携した基本的な生活習慣の定着	達成状況 3.32 (4点中) 年2回の生活実態調査を実施し、結果を家庭に知らせることで基本的な生活習慣の重要性を啓発してきた。 「早寝・早起き・朝ご飯」等の生活リズムが堅持できない家庭もあるが、定期的に学校や家庭・地域が連携し、啓発することで指導に努める機会を継続する。	課題のある特定の家庭の指導は困難と思うがよろしくお願ひしたい。
改善方策	児童の実態把握と支援のあり方。指導計画の活用。指導方法の研修。保護者への情報発信。	次年度も生活実態調査、がんばり週間の取組を継続してほしい。
開かれた学校づくりの推進	達成状況 3.34 (4点中) 学校通信、学校HP、緊急時の一斉配信メール等の配付による教育活動の発信を行っている。 地域施設の見学や地域人材による出前授業等、積極的な活用が行われている。30年度は4年生の人権教育、6年生の情報モラル教育を新規導入の予定である。 各種学力調査や新体力テスト、チャレンジテスト等についても、分析結果から授業改善までの流れを迅速に行い、人事評価シート面接でも話題として意識化に努めている。	学力や体力の向上を目指すと同時に、子ども・地域・保護者の相互理解を今後も大切に、さらに地域から信頼される学校を目指してほしい。 心を育てる会等、地域の教育力活用を通して、地域との交流活動もさらに推進してほしい。 学校だよりの字を大きくしてほしいとの要望もあった。
改善方策	学校HPの活用と充実。「たんぼぼ畑」や「花いっぱい運動」等、地域とのつながりによる活動の継続。学力調査や学校評価等の確かな情報発信とその解決策の提示。	今後もあらゆる機会を活用して、教育活動の情報発信に努めてほしい。
公表方法	学校だより配付及び学校HP掲載	学校HPに全掲載、学校だよりにダイジェスト版掲載。 30年度は「北光小マニュアル」パンフレット版の配付を計画中。

3 添付資料

- ①学校関係者評価委員会 会議資料
- ②教育評価3種アンケート(保護者・児童・教職員)と集計結果
- ③学校だより2月号SP(保護者・地域への公表資料)